

宮島・大聖院

土下舞三郎十人形展

へいけものがたりえんぎ
平家物語縁起

2008年11月18日[火]~12月14日[日]

開館時間/午前9時~午後4時 会場/大聖院 広島県廿日市市宮島町滝町210

入館料/前売り: 大人1,200円 高校・大学生 800円 小・中学生600円

当日: 大人1,500円 高校・大学生1,000円 小・中学生750円

主催/宮島・大聖院人形展実行委員会、特定非営利活動法人宮島ネットワーク

後援/広島県、広島県教育委員会、(社)広島県観光連盟、廿日市市、廿日市市教育委員会、中国新聞社、(社)宮島観光協会、西日本旅客鉄道(株)、NHK広島放送局、中国放送、広島ホームテレビ、広島テレビ、テレビ新広島、西広島タイムス

協力/厳島神社、JTB、日本旅行、KNT、広島電鉄グループ、瀬戸内海汽船、廿日市商工会議所

宮島・大聖院
 辻村寿三郎
 平家物語
 人形展



二条帝



待賢門院



似仁王

平家物語への私の思い

祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり

目伏せの法師がびわを奏でるこの語り出しのひと節は…。
 ちまたになり響く夕暮れの寺の鐘は、
 生き残っている人へのみ、胸にうちこまれる痛みとして解読しながら、
 平家の人物を、この私なりの諸行無常を人形という形で綴ってみました。

辻村寿三郎

安徳帝

辻村寿三郎

つじむらじゅさぶろう



1933年11月、満州、錦州省朝陽に生まれる。人形師、着物デザイン、舞台や映画などの衣装デザイン、演出、脚本、アートディレクターなど多岐にわたり活躍。1978年より演出家蛭川幸雄氏の演出する数々の作品の舞台衣装、アートディレクターを数年間にわたり担当。その独特な色彩美と幻想美は舞台衣装の世界に一大センセーションを巻き起こした。舞台衣装のデザインが多方面にわたり高い評価を得ていると同時に、イタリアの女流監督リリアナ・カヴァーニ氏や伊丹十三氏の作品など、映画の衣装も多く担当している。活動は国内にとどまらず、香港、ヨーロッパ、アメリカなど数回に及ぶ海外公演の実績もあり、海外での評価も非常に高い。ロックミュージシャンやほかのアーティストたちにも大きな影響を与え、総合的なアーティストとして各方面より大きな注目を集めている。独自の色づかい、デザインワークは女優など多くのファンから支持されており、現在、東京都中央区日本橋人形町の「ジュサプロー館」にてオリジナルデザインの着物を販売中。

へいけものがたりえんぎ
 平家物語
 絢起

●特別イベント①

11月22日[土]・12月14日[日]
 午前10時～/午後1時～
辻村寿三郎サイン会

*サインは会場内で販売されている商品に限らせて頂きます。

●特別イベント②

11月21日[金]・12月13日[土]
 午後4時～
辻村寿三郎トークショー

入場料/3,500円(前売りはございません)

●お問い合わせ先

宮島・大聖院人形展実行委員会事務局

☎090-8240-5322 ☎0829-56-5686



祇園の女御



会場 大聖院 | 〒739-0524 広島県廿日市市宮島町滝町210

アクセス 宮島口桟橋(JR山陽本線・宮島口駅から徒歩6分)より
 JR宮島航路または宮島松大観光フェリーで宮島へ渡る。
 宮島桟橋より徒歩約30分。

